

学年：6年	単元名：10. およその面積と体積 ーおよその面積と体積を求めよう
-------	--------------------------------------

1. 単元目標：（全5時間）

○身の回りにあるものの形について、その概形をとらえることでおよその面積や体積を求められることを理解し、図形を構成する要素や性質に着目し、面積や体積の求め方を筋道を立てて考える力を養うとともに、既習の面積や体積の学習に基づき概測などを用いて目的に応じて能率よく測定した過程を振り返り、そのよさに気づき今後の学習に活用しようとする態度を養う。

考判表・生活の中で、既習内容を生かそうとする。

技・知・身の回りにあるものの形の概形をとらえて、およその面積や体積を求めることができる。
・身の回りにあるものの形について、その概形をとらえることで、およその面積や体積を求められることを理解する。

2. 指導内容

- ・外形を基本図形でとらえた面積、体積の概則

3. 指導のポイント

○生活の中で「生きた算数」を身につける。
○「およそ」は、少なく見積もった方がよいときと、多く見積もった方がよいときがある。生活体験に則して考えることが大切である。
○「およそ」は、どの程度なら許されるか、場面によって異なる。そんな、許容範囲を考えることが大切である。そして、共通理解を得ることが、生活に役立つ。
○三角形をいくつかかいて、面積を求めていく方法がある。
・できるだけ少ない三角形に分割する方がよい。
・三角形の数が増えるとより正確になる。しかし、測定値が増えるので、誤差も生じる。

4. 指導にあたって

①子どもたちにどんな見方や考え方を獲得させたいか。

②それを通してどんな子どもに育てたいか。

5. 学習展開

第1・2時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○およその面積の求め方を知ろう。（P142/143）

OP142 東京ドーム

P143 明治神宮野球場 豊似湖

○およその面積の求め方を教える。→知っている形にすればよい。

○身の回りのいろいろなものの面積を求める。

- ・手のひら 帽子 靴下 など（あまりない）
- ・紙に写し取って求める。

※方眼紙を用意しておくとうよい。（1cmの方眼紙）

第3時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○およその体積・容積の求め方を知ろう。（P144）

OP144 ランドセル 牛乳パック ケーキ

○およその体積・容積の求め方を教える。→知っている形にすればよい。

○もの周りのいろいろなものの体積・容積を求める。

- ・パン 帽子 牛乳パック 消しゴム 筆箱

第4時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○いかしてみよう（P145）

○地図

○縮尺から実際の長さを出す方法を想起させる必要がある。

第5時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○算数の目（P146）
